

こうち就職氷河期世代活躍支援プランに基づく支援策の進捗管理表

対象者	取組内容	実施計画(令和6年度)	KPI			実績(令和6年度)	令和6年度の取組を踏まえた課題と今後の方向性	実施機関及び関係機関	備考	
			目標/令和6年度目標	令和6年度実績	達成度					
①相談体制の充実										
就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方	ア	専門相談員によるカウンセリング、セミナーの実施等により、支援対象者の職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。 また、遠隔地からの相談に対応するためのオンラインを活用した支援を行う。	【高知県教育委員会】若者サポートステーション事業 ○カウンセラーなどによる面談 ○就労につながる各種セミナーなど ○来所困難な方のためのオンライン支援 ○WEB広告などによる情報発信周知・広報活動の実施 ○就職氷河期世代支援に携わる支援者研修会 事前検討会(1回)、講座(年間3回)の開催	①新規登録者数 195人 R6年度末到達目標 55人	①新規登録者数 32人	D	【高知県教育委員会】若者サポートステーション事業 ○相談業務に関すること ・相談延べ件数 911件 初回面談前の相談に関しては、「HP」が多く、次いで「関係機関からの紹介」、「WEB広告」、「マスコミ・情報誌等」、「チラシ」及び「親族・知人からの紹介」の順に情報を得て登録を希望された。 ・就職氷河期世代支援に携わる支援者研修会 講座Ⅰ～Ⅲの参加延べ人数 63人 ○各種セミナー ・セミナー等参加延べ人数 186人 ・オンライン対応実施件数 0件	【高知県教育委員会】 ・担当者面談に加えて臨床心理士やキャリアコンサルタントといった専門相談員との面談に対するニーズが高かった。今後も引き続き面談体制の充実に向けて取り組む必要がある。	高知労働局、高知公共職業安定所、高知県教育委員会	*交付金事業
	イ	生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関(以下「自立相談支援機関」という。)、福祉事務所、高知県ひきこもり地域支援センター等、福祉関係機関を訪問し、サポステ利用への誘導を行う。また、この他にも登録者に対するアウトリーチ型支援を行う。ハローワーク、ジョブカフェこうち等との連携により、個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。	【高知県教育委員会】若者サポートステーション事業 ○関係機関との連携 ・各市町村役場・社協訪問 ・新任職員研修会(生活保護査察指導担当)、民生委員・児童委員研修会における事業説明、誘導依頼 ○アウトリーチ型支援(訪問相談・送迎支援等) ○事業所訪問により職場体験受入事業所の開拓と就職氷河期世代の就職への啓発活動の実施	①新規登録者数 195人 R6年度末到達目標 55人 【再掲】	①新規登録者数 32人	D	【高知県教育委員会】若者サポートステーション事業 ○関係機関との連携 ・各市町村役場・社協訪問延べ件数 71件 ○アウトリーチ型支援 ・アウトリーチ型支援延べ件数 78件 ・本人・保護者 60件 ・関係機関 18件 ・本人・保護者利用実人数 15人 ○職場開拓 ・職場開拓訪問延べ件数 112件 ・職場開拓訪問実件数 41件 ・職場開拓数 19件	【高知県教育委員会】 ・就労支援や各種セミナー、職場体験などを通じ、職業的自立支援をさらに充実させる。 ・対象者を若者サポートステーションにつなげるため、「地区別連絡会・高等学校担当者会」の実施や学校・関係機関への訪問により、事業のさらなる周知と連携の強化を図る。	高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会	*交付金事業
				②就業者数(正規雇用・非正規雇用、自営・起業・内職等の人数) 86人 R6年度末到達目標 27人	②就業者数(正規雇用・非正規雇用、自営・起業・内職等の人数) 23人(正規7・非正規16)	B				
			③進路決定者数(就業者数を除く) 11人 R6年度末到達目標 3人 *進路決定者:リファーマ(他機関への引継ぎ)や高卒認定試験を合格された方など	③進路決定者数(就業者数を除く) 0人	D					
②職場体験・見学、就労に向けた支援										
社会参加(ひきこもりの方等)に対する支援	ア	支援対象者に対する就職準備セミナー、職場見学・体験等を開催する。	【教育委員会】若者サポートステーション事業 ○職場体験 利用者手当て1hあたり820円から853円に変更	②就業者数(正規雇用・非正規雇用、自営・起業・内職等の人数) 86人 R6年度末到達目標 27人 【再掲】	②就業者数(正規雇用・非正規雇用、自営・起業・内職等の人数) 23人(正規7・非正規16) 【再掲】	B	【高知県教育委員会】 ○職場体験 ・職場体験実施延べ件数 7件 ・職場体験延べ日数 31日 ・職場体験実人数 4人 職場体験実人数4人(4人中2人は採用)	【高知県教育委員会】 ・現在163カ所の事業所で、職場体験ができるよう、さまざまな分野の業種と連携している。引き続き、個別面談やセミナーを通じて、支援者の適性を高めるとともに、職場体験から就職につながるよう支援する。	高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会	*交付金事業
	ウ	長期にわたり無業の状態にある方を対象とした職場開拓支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等の取組について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例の収集・提供など必要な支援を行う。	【教育委員会】若者サポートステーション事業 ○事業所訪問により職場体験受入事業所の開拓と就職氷河期世代の就職への啓発活動の実施【再掲】	—	—	—	【教育委員会】若者サポートステーション事業 ○職場開拓【再掲】 ・職場開拓訪問延べ件数 112件 ・職場開拓訪問実件数 41件 ・職場開拓数 19件	【高知県教育委員会】 ・継続支援者の中には福祉的支援が必要な方も一定数いることから、支援者に適切な支援を行うために、より一層福祉機関との連携を行い、効率よく適切に対応する仕組みができるよう働きかけていく必要がある。	高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会	
	イ	ひきこもりの方等に係る就労体験等の機会確保及び受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例等の収集・提供など必要な支援を行う。	【教育委員会】若者サポートステーション事業 ○事業所訪問により職場体験受入事業所の開拓と就職氷河期世代の就職への啓発活動の実施【再掲】	—	—	—	【教育委員会】若者サポートステーション事業 ○職場開拓【再掲】 ・職場開拓訪問延べ件数 112件 ・職場開拓訪問実件数 41件 ・職場開拓数 19件	【高知県教育委員会】 ・継続支援者の中には福祉的支援が必要な方も一定数いることから、支援者に適切な支援を行うために、より一層福祉機関との連携を行い、効率よく適切に対応する仕組みができるよう働きかけていく必要がある。 (再掲)	高知労働局、高知公共職業安定所、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会	
⑤多様な社会参加に向けた支援										
①社会気運の醸成										
全支援対象者	イ	支援対象者一人ひとりやその家族に、各種支援策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、高知労働局が中心となって、あらゆる手段(HP、メディア、SNS、WEB、イベント開催等)を活用した、広報を展開する。	【教育委員会】若者サポートステーション事業 ○サポステ事業による広報活動 ・WEB広告 ・チラシ作成 ・ランディングページ改修 ・出張相談会 ・民生委員児童委員協議会への民生委員によるチラシ配布依頼 ・職場開拓員による市町村役場・社協訪問	—	—	—	【高知県教育委員会】若者サポートステーション事業 ○サポステ事業による広報活動 ・WEB広告 ・チラシ作成 ・ランディングページ改修 ・各種出張相談会(ハローワーク、オーテピア、市役所) ・職場開拓員による市町村役場・社協訪問 71件	【高知県教育委員会】 ・引き続き、Web広告や地域情報誌への広報を含め、若者サポートステーションへの誘導を図るために広報活動を実施する。	全構成員	